



## 令和2年度 桜地区自主防災協議会活動内容（コロナ禍において）

今年度はコロナ禍による影響で、例年行われる防災訓練、防災フェスタ等が中止となりましたが、その中で行われた活動内容を報告します。

新型コロナ感染防止対策は、一人ひとりがよく理解して、行動することが必要です。

積極的に勉強して災害対策・感染防止に努めましょう。

### ○救急医療情報キット 全世帯6,000戸に配布 7月

「救急医療情報キット」とは、自分の名前・持病・緊急連絡先などを記入した用紙を円筒形プラスチック容器に入れ冷蔵庫に保管する。緊急時に救援者が活用して、早期処置に役立てるものです。

### ○防災講演会 11月5日

「コロナ禍の避難所運営について」 講師：レスキューストックヤード 浦野 愛 氏

今までの避難所運営との違い及び感染防止方法を画像・資料等を駆使して、大変わかりやすく説明され理解しやすい講演内容でした。

### ○防災講演会 1月22日

「なぜ 防災活動に女性の目線が必要なのか」

講師：県地区女性防災クローバーリーダー

寺本 恭子 氏

「女性のための防災教室」を開催し、女性向け防災訓練や防災倉庫の点検等を行う中で得られた意見・感想を、男性陣がいかに実施していくかが問われる内容でした。



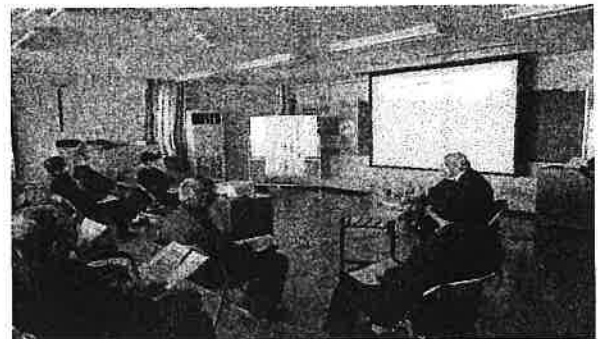
### ○防災講演会 2月21日

「南海トラフ級の地震発生に伴う防災

活動が機能する組織体制と取り組み」

講師：地域地震情報KK 川合 一明 氏

自主防災組織・自治会が何をどう備えていけばいいか、またどのような対策・取り組みが必要なのか具体的に説明、力強く訴えられました。



### ○視察研修会 12月3日

「伊勢市防災センター・磯町津波避難マウンド」

防災体験学習室では煙が充満した部屋や階段を避難する体験を行いました。

また、「磯町津波避難マウンド」も見学しました。

### ○勉強会 12月20日

会場：桜地区市民センター 駐車場

四日市市中消防署西分署・桜消防分団とともに年末に向けての火災・防災の注意を呼びかけました。

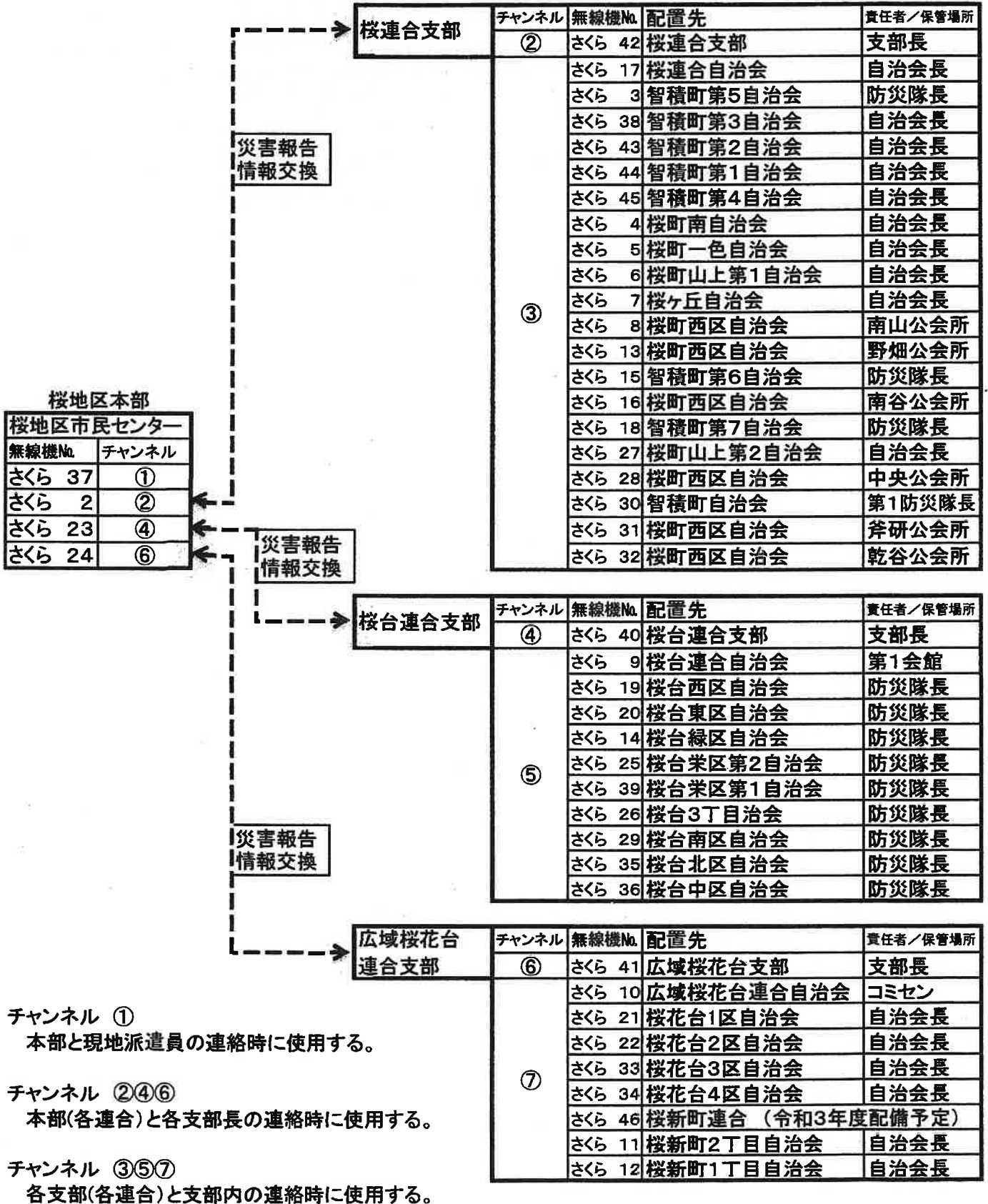
防災ニュース「きらら」は単独で回覧をお願いします。

# 桜地区自主防災の無線機による連絡網

## 無線機の必要性

災害時には、固定電話、携帯電話、衛星電話が混雑してつながらなくなります。桜地区危機管理対応として緊急時の避難誘導、通信網の確保をするために、町内数キロをカバーできる、パーソナル無線機を採用しています。

令和2年7月現在



### チャンネル ①

本部と現地派遣員の連絡時に使用する。

### チャンネル ②④⑥

本部(各連合)と各支部長の連絡時に使用する。

### チャンネル ③⑤⑦

各支部(各連合)と支部内の連絡時に使用する。